

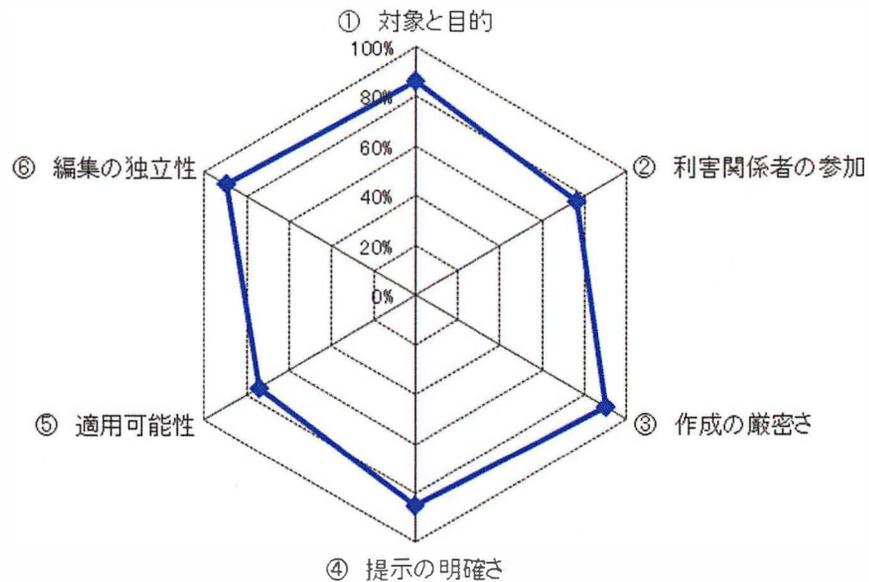
# 『ARDS 診療ガイドライン 2016』

(2016 年発行 日本呼吸器学会、日本呼吸療法医学会、日本集中治療医学会 編)

## 評価結果レポート

### 1. 領域別評価と全体評価結果

領域	領域別標準化スコア
① 対象と目的	86%
② 利害関係者の参加	76%
③ 作成の厳密さ	90%
④ 提示の明確さ	85%
⑤ 適用可能性	74%
⑥ 編集の独立性	90%
⑦ 全体評価	83%



## 2. 総評

対象と目的、利害関係者の参加、作成の厳密さ、提示の明確さ、適用可能性、編集の独立性の領域、と全領域の記載について評価が高かった、非常に優れたガイドラインです。とりわけ、システマティックレビューの結果のまとめ、エビデンス総体の評価から推奨作成の過程が系統的に明示されている点が高く評価でき、綿密に検討された過程が読み取れます。また、複数のガイドライン専門家・患者家族の参画、コストに関する検討、アカデミック COI の開示についても日本国内ではまだほとんど見られない先駆的な取り組みが見受けられます。さらなる改善に向けての課題としては、アルゴリズムやモニタリング指標に関する記載が挙げられます。次回の改訂に向けてご検討ください。